

みんなでささえる 国保会計



～生活習慣病について～

生活習慣病とは、日常の乱れた生活習慣の積み重ねによって引き起こされる病気で、かつては“成人病”と呼ばれていました。生活習慣病にはさまざまな病気があり、日本人の3分の2が生活習慣病で亡くなっています。

生活習慣病は、遺伝的な要因もありますが、食生活や運動、喫煙、飲酒、ストレスなどが深く関わっています。言い換えれば、普段の生活習慣を見直し、生活習慣を改善することにより、病気を予防し、症状が軽いうちに治すことも可能なのです。

【生活習慣病と呼ばれる主なもの】

■高血圧症

血圧が高くなった状態。

原因として、遺伝や食事、肥満などのほか、腎臓の病気やホルモンの異常などが挙げられます。

■糖尿病

血液中の血糖値が上昇し、尿に糖が出る病気。

原因として、高カロリーな食生活の継続、日頃の運動不足やストレスなどが挙げられます。

■高脂血症

コレステロールや中性脂肪といった、血液中の脂質が過剰となった状態。

原因として、遺伝、糖尿病、脂質の取りすぎなどが挙げられます。

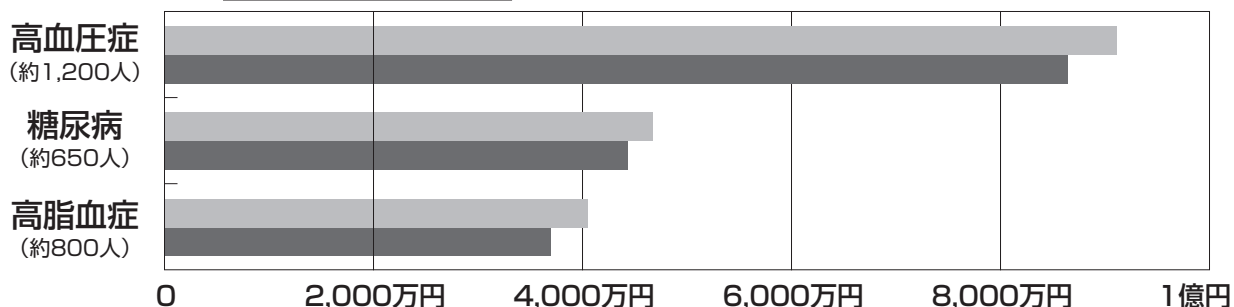
【黒潮町の状況】

次のグラフは、上の3つの病気にかかる医療費について、平成22年度と23年度で比較したものです。どの病気も23年度の方が増加しており、今後も徐々に増えていく見込みです。

また、これらの医療費が国保財政を圧迫している要因の一つにもなっているのです。

【医療費の比較】

■ 22年度 ■ 23年度



※黒潮町国保の被保険者のうち、40歳から74歳の方を対象としています。※カッコ内の人数は23年度末現在の治療者数です。※「医療費」とは1年間にかかる総医療費の額です。

現代社会では、さまざまな要因から生活習慣病患者および生活習慣病予備軍と呼ばれる方々は増加する一方です。病気の原因を作らぬよう、日頃の生活習慣を見直し、予防・改善していきましょう。

○お問い合わせ 【本 庁】健康福祉課 国保係 ☎43-2116(直通)
【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第2係 ☎55-3111(直通)